

212

夕

全

中

約  
借

全



作駒詣

這回沙心輕之民勢

有所詢未詣也

山子付也案因傍也

一軍名攻取也



廣瀬川

定りゆき芭蕉辻を

巨く東雲より入新茶

屋小暫く休む

利廣瀬川

西に松山の友是山



作駒詣

このこゝに  
這回涉ん程に  
有竹駒来詣  
心付

心付  
有竹駒来詣  
心付

心付  
心付  
心付



仁壽寺 永昌寺  
 通宝山 永昌寺  
 の中ぬよりのよりの  
 のうてむきくまの  
 やいせん

大塔山 西賢寺  
 ちよとん 西賢寺  
 ちよとん 西賢寺  
 ちよとん 西賢寺  
 ちよとん 西賢寺

西賢寺 西賢寺  
 西賢寺 西賢寺  
 西賢寺 西賢寺  
 西賢寺 西賢寺



の神を御禮しぬ  
のい まい

多賀の神社を遠く  
たがの じんしゃ

見せし河津川を別  
みせし かわづがわ

名取川より申  
なとりがわ より ます

六河を文治のころ  
むつがわ を ぶんぢのころ

源頼朝公若菜春禰  
げん りょう かく わかなる 春ね

合戦の時頼ともが  
くわいせん のとき りょうともが

けふの軍は名取川  
けふの いくさは なとりがわ

空詠しあひしを  
そらうた しあひしを

梶原景時取らんと  
かじはら かげとき とらんと

七番正親町  
塔之山大願寺

たておきしみの  
ちうひのおる  
ゆひのうらま  
るれせん

全支正親町  
湯田山光流

せき山人  
ころおし  
いのりてや  
まこのちよ

成光山満願寺

あくのゆひ  
はくこのて  
けとのん  
いのら



天を流るるや  
あらし

涙りせんとは  
あらし

とて誠は  
あらし

霞をるるよ  
あらし

風景は  
あらし

龍が中田の町を  
あらし

追行流るる  
あらし

田川天満宮  
あらし

信下は  
あらし

義興の征伐  
あらし

十番千手観音堂  
慈眼山延壽院  
ことぶさどのぶら  
ちりひやめりゆく  
まきののけのまら  
まら

土ま土五観音堂  
藤佐山延壽寺  
あつらひのり  
まじめりゆく  
まらやまらちまの  
みむらよ

土ま土五観音堂  
花光山慈眼寺  
まらやまらちまの  
みむらよ

まらやまらちまの  
みむらよ



初清奉りし中木の

杉森ハ名取の老女

の宮居あり彼老女が

信心し奉りし熊野

三木権現を神徳珠

ら志しし森としる

聖地あり毎年九月

九月神事あり是熊

野聖禮の遺風承

傳ふに遠十二神形智山

了

天下

陰

大

陰

堂

金太郎

十三番心観世音 日  
 松尾山金猪寺  
 まつのおやあし  
 みのこれいんそ  
 なまはまこころ  
 うのてら

十番心観世音 日  
 志城山浄林寺  
 あふけなとたじ  
 ちうひのあふいなる  
 むまの林小うつ  
 ひろくと

十番心観世音 日  
 又劫山忍陀院  
 おらうあるとてお  
 のふとそりのみふ  
 おりそりしやぞ  
 ひさし



堂野熊

権現小佐次こさの権ごん現げん小佐次こさの権ごん現げん

莫もくの松しょう千年せんねんかちかちぬ

赤坂あかさかやや最も當とう根ねととふ

海濱うみべをを弘こう生せい大師だいし垢か離り

の靈場れいじやうととやや佐具さぐ敷敷

の神かみ社やをを陸奥りくおの古ふる

社やののちちにに禮らいとと重おも

く赤福あかふく下げ夜よ道みち祖そ神かみ

の社や實じつ方かた中ちゆう將しやうの塚つち

のの世よ名なのの社や

十六番 正智無音日

十劫山成光寺

さとりなりころい

むろーの十月

さくら月だあけ

うこの夜

十七番 正智無音日

法王一向宗隆寺

ついで〜な〜

あ〜あ〜あ〜

え〜え〜え〜

〜ら〜ら〜

十九番 正智無音日

花雪山光書院

ひら〜ひら〜

な〜な〜あ〜あ〜



くむ〜あ防〜空島也

あけ〜は〜あ〜う〜い〜あ〜

くら〜あ〜あ〜その名号

あ〜あ〜あ〜枯舟の

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜古蹟也

これよりあ〜あ〜あ〜あ〜

道級野坂花町也

あ〜あ〜あ〜植松村の弘

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜

陸菫

陸菫



十九歳 志願 観音 蓮華  
天苗山 岐林寺

たておきしちりひの  
はともあつこめて  
いしうこまごひ  
つりぬる

廿番 心観世音 志願  
あまのふく福寺

いりぬる  
あまのふく福寺  
のふらんとすのり

廿番 志願 観音 蓮華  
金秀山 瑞雲寺

いりぬる  
あまのふく福寺  
あまのふく福寺  
たがすび

金蛇の神社を

お一里塚 踏込

石岩沼所 差

お針 駒の神

社名のも居りや

高樓つら雲 織

の額お殿廻廊 神

系堂繪馬堂也 既

系林お見え一社 此の

神を住若小野 堂

世二歳正親世音田  
後現山保壽寺

こころをたたりつ  
のこころをたたりつ

いのみみまへ  
こころやせん

世三番山遍照寺  
惠日山遍照寺

奮てあゝあま孫  
くてもすののふ

いひらあまのめ  
くむゆくまへ

世四番山遍照寺  
後玉山尼寺

ようはよまうご  
いとのおちゆく

玉のちたき山の  
あまてり

稲荷の社を移し

なり武隈明神と

申せしと縁起

の能因法師東に

巡覧の好風と竹

の馬は騎する童子

に逢ひ二本の松を

為ねしとあはれ

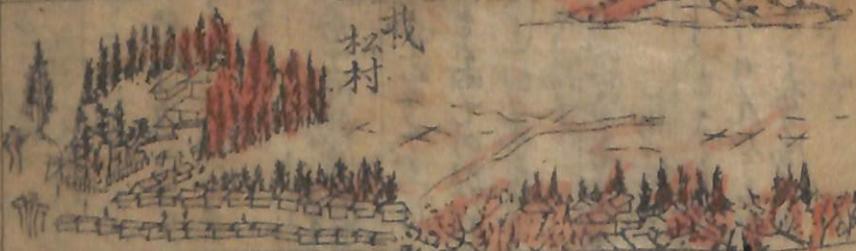
事凡人あはれ

明神の化座也と



遠奈太

神明腰館



廿六番千手観音まつ  
 後園山園令寺  
 いさよよやあはれて  
 たすけよあまを  
 月けゆく玉のまら  
 一のほろ  
 廿六番正観世音日世お  
 良菩提  
 みてもあまのりし  
 ついに終日うけ  
 てらまはせしもの  
 のまゆを  
 菩提子神佛留本  
 多奈山徳意寺  
 ゆたかむてむとと  
 いたやむもくの  
 佛のたぐらうま  
 ころもく

神  
 神  
 神

神  
 神  
 神

神  
 神  
 神

神  
 神  
 神

神  
 神  
 神

神  
 神  
 神

神  
 神  
 神

神  
 神  
 神

神  
 神  
 神

神  
 神  
 神

神  
 神  
 神

梵番正觀世音  
觀音山念佛堂

月ツキのツキままららううして  
ここのこ光光るるははここの  
ここををああゆゆ

梵番土面觀音法華堂

ととままららううのの形形は  
ああららむむををああまま  
いいややららしし

世尊正觀世音法華堂  
高福院

いいややららししままららうう  
ああららむむををああまま  
ここのこををああまま  
ううすすまますすて

世番土面觀音法華堂  
大菩提院

ここのこををああまま  
ああららむむををああまま  
ううすすまますすて

世番正觀世音法華堂  
成就院

ここのこををああまま  
ああららむむををああまま  
ううすすまますすて

世番正觀世音法華堂  
經於山大菩薩寺

ここのこををああまま  
ああららむむををああまま  
ううすすまますすて

かかのの名な不ふ舊きゅう也や

教きょう多たくく出しゅつのの也や

其その節せつ一いつ也や

又また法はふのの海かいのの也や

毎まいくく若じやく法はふのの也や

會かい之の節せつ下か也や

述しゆつ之の節せつ下か也や



千時文政五壬午初冬新刻成

仙臺國分町十九軒

書肆 裳華房 伊勢屋半右衛門

